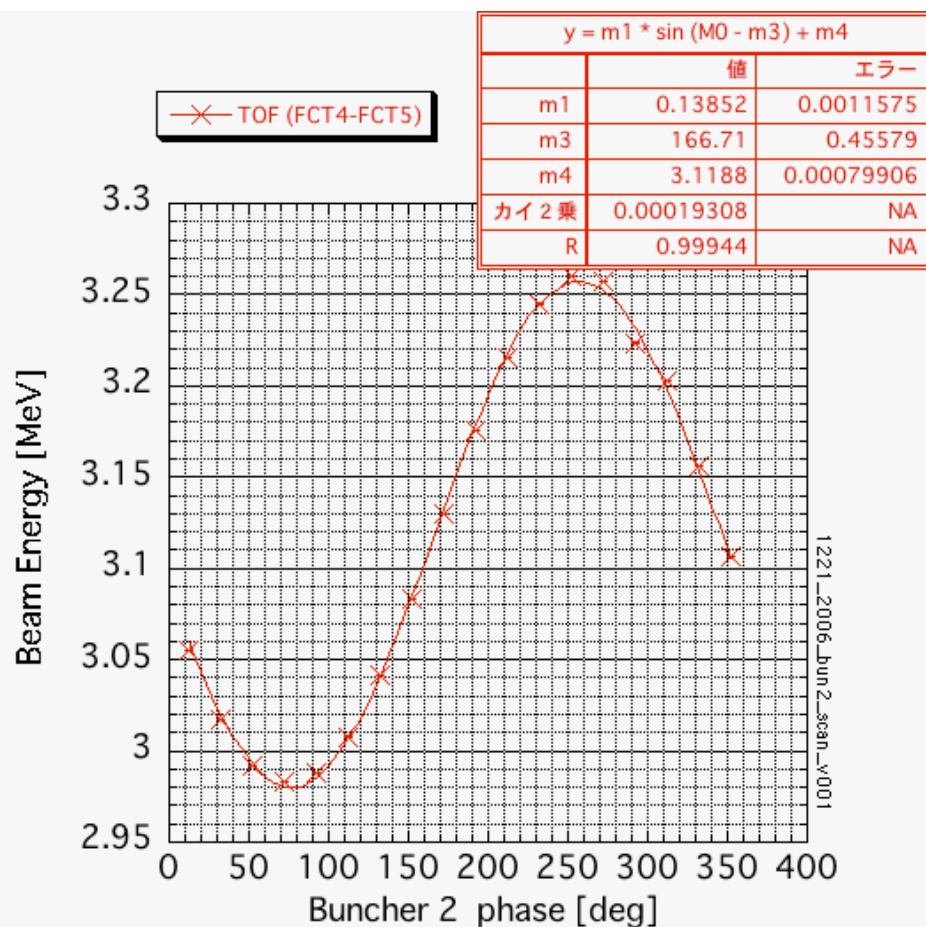


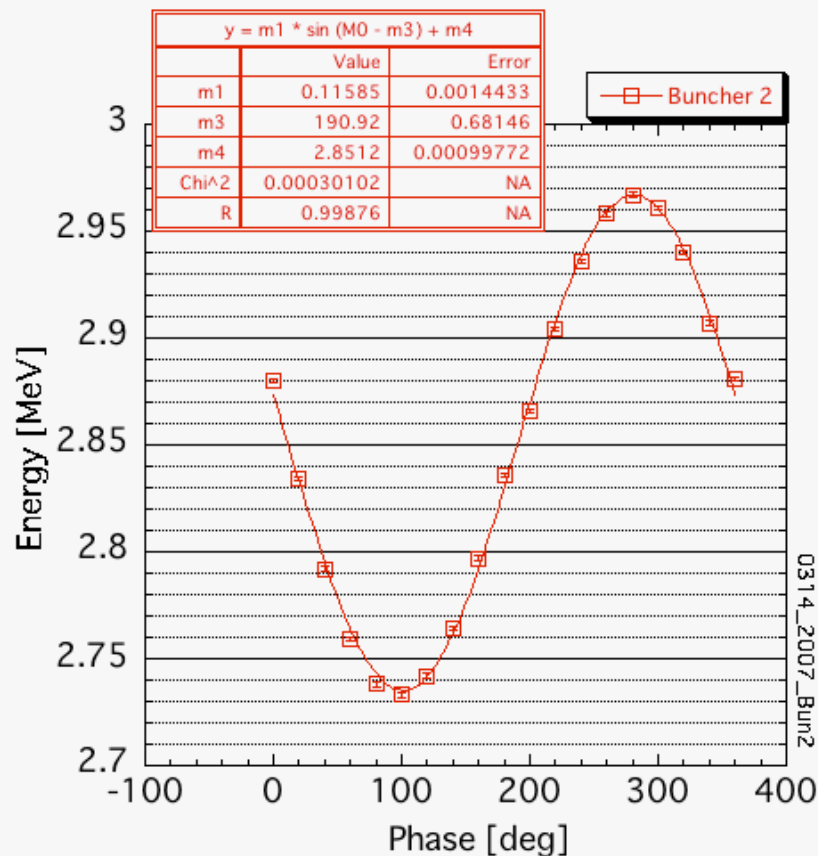
DTL phase scan summary

RUN5 (March 14-15, 2007)

MEBT buncher2 phase scan



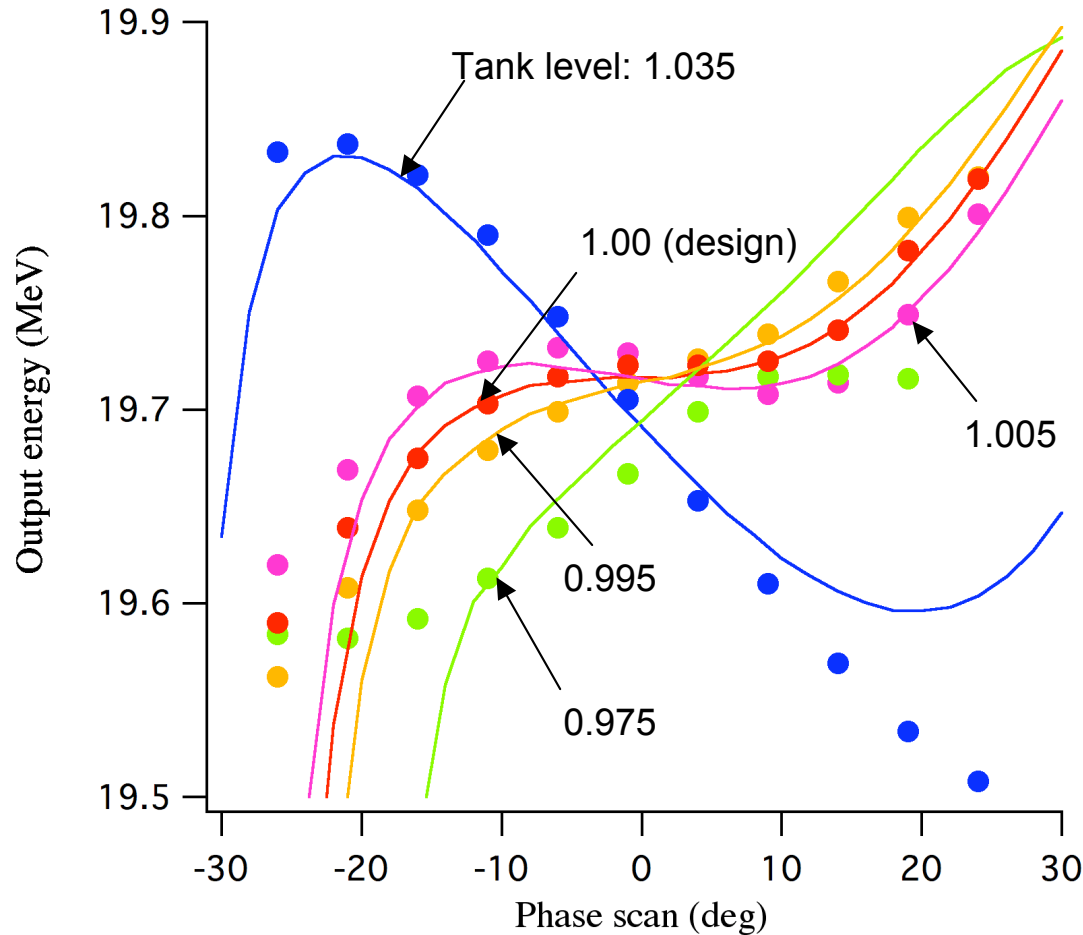
RUN2 (振幅 : 139keV)



RUN5 (振幅 : 116keV)

同じ振幅設定値で、振幅の測定結果が大きく異なる結果となった。
MEBTのFCT4-5の確認が必要。

DTL1 phase scan



実線はシミュレーション、マーカーは測定値

MEBT buncher2で、40keV
加速して入射

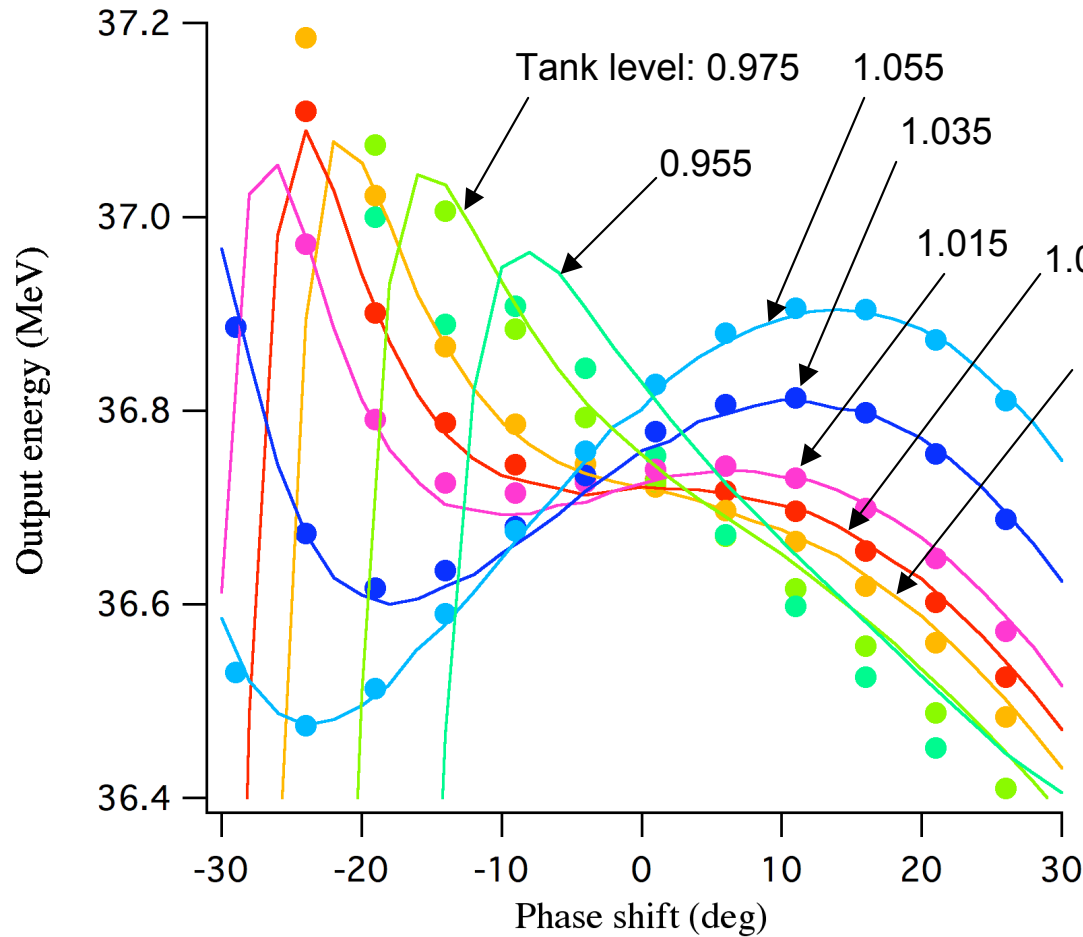
DTL2前後のFCTで、エネ
ルギーをTOF測定

測定したエネルギー値を
80keV下げた（測定値にオ
フセットがあると仮定）

前回決めた振幅から
0.5%下げた振幅が最適値
であるという結論になる

タンクレベルの低い側は、
シミュレーションとの合い
がよくない

DTL2 phase scan



実線はシミュレーション、マーカーは測定値

MEBT buncher2で、40keV
加速して入射

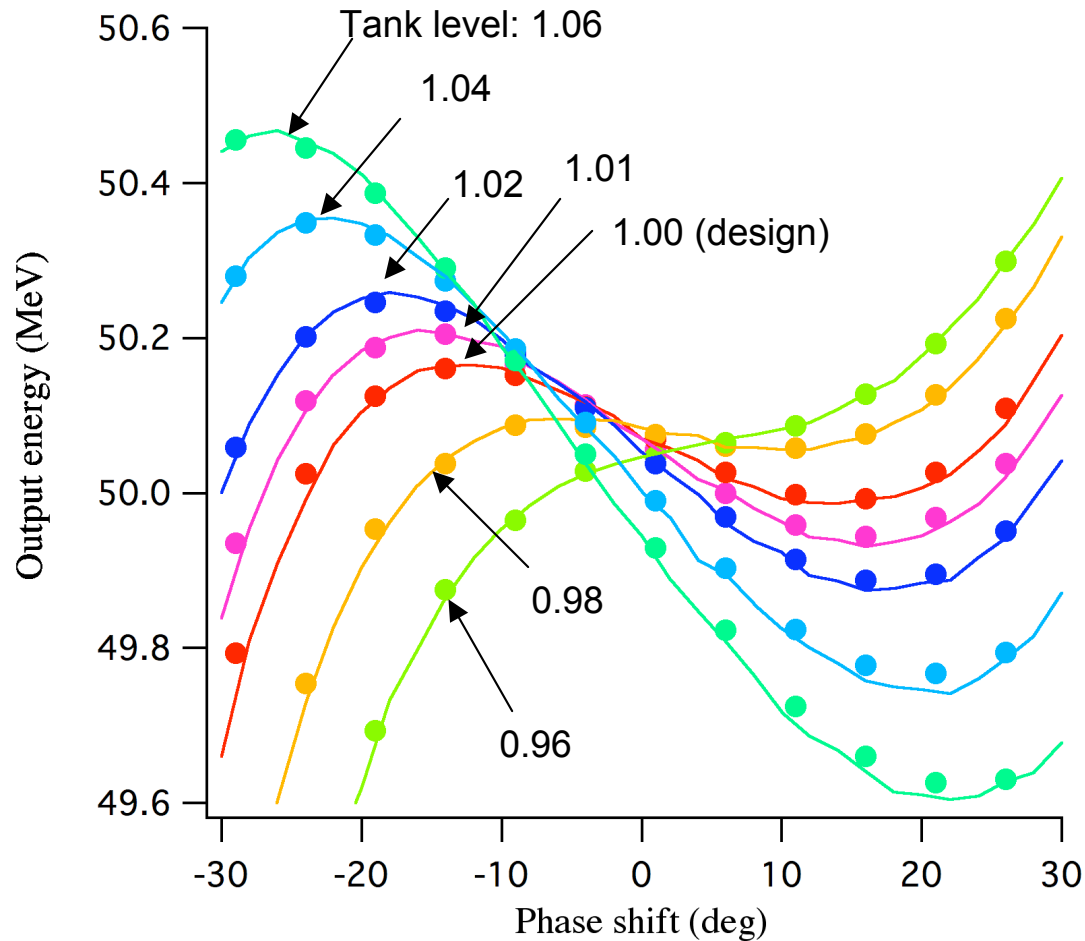
DTL3前後のFCTで、エネ
ルギーをTOF測定

測定したエネルギー値を
130keV下げた（測定値に
オフセットがあると仮定）

前回決めた振幅から
0.5%下げた振幅が最適値
であるという結論になる

タンクレベルの低い側は、
シミュレーションとの合い
がよくない

DTL3 phase scan



MEBT buncher2で、40keV
加速して入射

DTL3後およびSDTL3タン
ク下流のFCTで、エネルギー
をTOF測定

測定したエネルギー値を
120keV上げた（測定値に
オフセットがあると仮定）

前回決めた振幅から1%下
げた振幅が最適値である
という結論になる。

S1, S2はデチューンした。

実線はシミュレーション、マーカーは測定値

DTL phase scan summary

- MEBT buncher2で40keV(?)加速して入射
Buncher1 振幅設定値4070、位相設定値90.0度
Buncher2 振幅設定値3569、位相設定値207.8度
Buncher2の電圧はオプティク上の設計値（137.3keV）からずれているが、振幅を前回と同じ値に設定した。
位相はオプティク上の設計値（-73.1度）に合わせた。
- DTL1
振幅設定値3596、位相設定値274度が設計値
- DTL2
振幅設定値3919、位相設定値234度が設計値
- DTL3
振幅設定値3872、位相設定値329度が設計値